

保育だより

2023年 3月号

社会福祉法人いずみ会

幼保連携型認定こども園

つるた乳幼児園

園長 福澤紀子

北津軽郡鶴田町大字鶴田字相原68-2

電話 0173 (22) 3765

おわかれ ～巣立ちゆく君たちへ～

園長 福澤紀子

コロナ禍マスク生活、黙食、大きな声援や各年間行事、家族でのお出かけ等々行動制限と自粛を強いられてきました。誰もが今までに経験したことのない3年間を君たちは過ごしてきたのです。50周年を迎えた“つるた乳幼児園”「森といずみとにじの園～自然の恵みにふれ、群れの中で育つ体験を大切にする～」を通して、心が動くとも体も動く（魂と魂のふれあい）を大切に、仲間たちと群れの中でできればダイナミックに体験する。このことを限られた時間と環境の中、先生たちは考え実践するために苦勞していました。自粛を前提にしながらもいろいろな体験活動に取り組んでいたのではと思います。先生たちは一生懸命に取り組みましたが、時には気が付かないうちに傷つけ悲しい思いをさせたこともあったろうと思います。この場をお借りして深く反省しお詫びを申し上げ、許していただきたいと思います。

1月に修了児に新しい仲間が加わり、男の子たちは何かいい雰囲気です。チームができたと感じています。また女の子たちも素直に自分の気持ちを伝えあう素敵な姿が見られました。周りを見て「どうした？」と声をかける子、またある行為の中、互いに目配せし視線を合わせてうなずき、微笑みあうこともありました。2月に入り堂々と自分の名前や将来の夢を語

る姿、心のこもった子どもたちの歌に感動している日々です。このような子どもの姿から、いよいよ小学校に巣立つ時が来たと感じさせられます。

世界や日本国を見回しても大変不安定ですが、未来を切り拓いていくための力は既に君たちのなかに根付いていることと思います。園生活の中で種は既に蒔かれています。小さなその一粒の種はしっかりと根を這わせ芽を出していつしか自分の花を咲かせることでしょう。そして世界中にそれぞれの自分の花を咲かせることでしょう。

おわかれはいつも寂しいものですが、成長した子どもの姿は未来への夢や喜び、希望が溢れています。修了おめでとうございます。

シャローム



◆ 報 告 ◆

◎豆まき集会 2月3日(金)

自分たちで作った鬼の面をかぶり、豆まき集会に参加しました。来園した赤鬼とクイズをして豆まきの由来を楽しく学びました。皆で心の中の鬼を退治しました。



◆ 行 事 ◆

◎父母の会役員会 3月3日(金) 18時～

◎成長を喜ぶ会及び入園説明会

・3月15日(水)、16日(木) 9時30分

※連絡済

◎修了式 3月21日(火) 9時15分

・5歳児(かなりや)のみ

各家庭2名までの参加

◎新入園児説明会 3月23日(木) 10時

◎新年度保育開始 4月3日(月)

かなりやさん しゅりょうおめでとう

4がつから しょうがくせいになる みなさん。もうすぐつるたにゆうようじえんとも おわかれです。つるたにゆうようじえんで すごしたじかんはどうでしたか? おかあさんに あえなくて さびしかった? おともだちとあそんでたのしかった? けんかをして かなしかった? じてんしゃにのれるようになったり、なわとびがとべるようになったりして うれしかった? たくさんのことがあって ワクワクしたり、ドキドキしたり いろいろなきもちになったとおもいます。

つるたにゆうようじえんで いっぱいあそんだこと、がんばったこと、けいけいんしたことは みんなのちから になっています。こころも からだも りっぱにおおきくなった みなさんなら がっこうにいったら だいじょうぶです。

これから あたらしいばしょ、しょうがっこうにいったら あたらしいともだちができたり、べんきょうしたり、スポーツをしたり たのしいことがたくさんあります。あたらしいワクワク、ドキドキがまっています。みんなのこころのなかにある 4つのこころ『あかるい こころ・うつくしい こころ・つよい こころ・ただしい こころ』で たくさんのあたらしいことに ちょうせんしてほしいです。しっぱいしても だいじょうぶ。こわがらないで ゆうきをだして ちょうせんしてください。つるたにゆうようじえんの せんせいたちは いつまでも いつまでも みんなのことを おうえんしています。かなりやさんがまた おおきくなって えがおで あいにきてくれるのを まっています。

かなりやさん いっぱいあそんでくれて ありがとう。

しゅりょう おめでとう

せんせいたちより